

オカエリナサイが聴こえる町

目がさめたらいつもの朝ご飯の匂い
けんかしたゆうべ 傷つけた言葉
少しうつむいたまま

階段を下りると何もなかったような
「おはよう」が響いた

こうして一つ一つが積み重なって
当たり前の日々が輝き始める

君が生まれた朝 君を抱き上げた空
君が危うげに両手広げて

初めて歩いた春の午後
出会ってくれてありがとう

生まれて来てくれてありがとう
おはよう こんにちは

いつてらっしゃい
おかえりなさいが聴こえる町

川沿いの帰り道 一人きり歩いた
友達もいない 新しい暮らし
かけてきた足音 一緒に帰ろうと
古い仲間のような 笑顔をくれたね

こうして一人一人が誰かを思い
広がるつながりが宝物になる

君と遊んだ川 君と駆けのぼった丘
君と汗流し声合わせた

夕陽に染まる最終試合
気にしてくれてありがとう

そばにいてくれてありがとう
がんばれ 大丈夫 元気出して

見守っていると聴こえた町

大空へ伸びてゆく飛行機雲に
まだ見ぬ君と 未来への扉
探しに行こう

君と感じた風 君と描いた空
君といつまでも見上げていた

あの夏の夜に咲いた火花
出会ってくれてありがとう

ここに生きてくれてありがとう
おはよう こんにちは

いつてらっしゃい
おかえりなさいが聴こえる町

大好きだよと聴こえた町

作詞・樋口 了一
ひぐち りゅういち

※町では、平成27年度に本町のイ
メージソングとして作成したこ
の曲を、今、「復興ソング」とし
て「ましきさいがいFM(89・0
MHz)」で流しています。



「ひかりのなかの子どもたち」
(5月1日撮影 / カワバタマイ)
家屋が被災し、自宅のビニールハウスで
自主避難中だった子どもたち。

そしてこれから

あの日から、一年。花冷えの春の訪れに、
一瞬にして町を襲った、あの痛ましい震災
の一部始終が思い出されます。

それでも私たちは、くじけそうになると
き、混乱の最中に手を取り合い励まし合っ
たことを支えに生きてきました。全国から
寄せられた支援に救われ、辛さをバネにす
る力が湧きました。この益城人の底力こそ
が、復興の根幹です。

今年の一文字を「支」としました。それ
は、皆さまと心をつにし、支え合いなが
ら、一刻も早い完全復興を目指す私の決意
です。

そして今、益城町の復旧・復興は確実に
進んでいます。皆さまの心からの笑顔を取
り戻すため、町長としてこれからも、しっ
かりと取り組んでまいります。

益城町長 西村博則